



3/22 ダイコンを青い細棒の位置に蒔く 2列



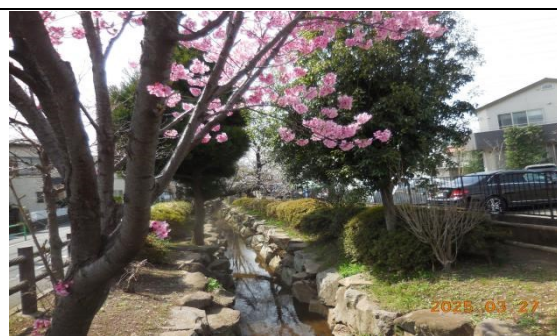
水槽の北側にジャガイモ 追肥溝 カキナ

サクラ(染井吉野)の蕾が膨らむ。(3/18)
が来た。 ソメイヨシノ 満開、(3/29)。

千川上水沿いの細道。 よいよ、春
だが・・・、突然の花冷え。(4/3)



3/27 青梅街道水道端の交差点



同日 千川上水、田中橋のサクラ咲く 農園近く

青梅街道を渡る。「コジマ」(動物販売店)の所。 大層危ない交差点である。 尾崎農園の方向に入ると「ギシギシ」「スギナ」「ヒルガオ」が群生する。 そろそろ土筆(つくし)が覗くであろう。 草たちを見ると、千川上水の土手の土は、「酸性土」だ。 3月29日、ツクシ、群生する。

交差点近くの関町南三丁目の区民農園は、耕作されている方々が石灰をよくお撒きになっているからか、「ハコベ」「ホトケノザ」「イヌノフグリ」「スズメノカタビラ」たち・・・が生える。 で、それで、「中性土」と解る。 もう石灰分を撒くことは、要らないであろう。

多くの野菜たちは、中性から弱酸性の範囲が、適正酸度であります。

ホウレン草、フダンソウ、洋種フダンソウ(スイスチャート)は、中性大好き。

「灰」大好き。 「灰」を施すと良く育ちだす。

仏壇の「灰」、毎日の線香5本の灰が、結構溜まる。 で・・・、弱アルカリ性

の大好きな野菜たちに使います。 スイスチャート(洋種フダンソウ)が、勢いづくのであります。大層良く育ちます。

清瀬の篤農家のMさんが、『里芋には「灰」は禁物だよと』と、教えていただく。 自分は、サツマイモと同じように「灰」が良いと思っていました。

「灰」を置くと、それまで順調な里芋たちの成長が止まってしまった。 芋の太りが止まってしまった。

パパイヤの下で半日陰にして作っていました。 そこまでは順当。 パパイヤの半日陰が良かったと思います……。 ところが、「灰」を施してから不調になってしまいました。 子芋、孫芋の芽が止まってしまいました。 葉柄がしだれ気味になったのであります。 サトイモには「灰」は良くないようでございます。

Mさんの「里芋」は、巨大な芋の塊に育つ。 葉柄は、2.5mを超えているとの事。 すごい！。 彼は、親芋は捨てていると言う。 林の中に山積み。 以前は、家畜(豚)の餌にしていたそうです。

「子芋」「孫芋」「玄孫芋」をスタンド販売棚に置くと、直ぐに売り切れてしまうそうです。 子芋、孫イモは、とても美味しい。 私は、Mさんにいただきましたサトイモの巨大な芋根の「親芋」も食べました。 ホクホクしていて中々おいしいのに、もったいない。 もったいない。

奥様のおつくりになった芋煮は、誠に美味しかった。 旨かった。 数年前、GA東京の活動「カタクリの散策会」でお邪魔しました時にいただきました。「ごちそうさま」でした。

東京と埼玉県境の一級河川、「空堀川」の南岸の丘に広がる広大な畑。 明治薬科大学の岡近くの岡。 その一角にMさんの耕地がある。 「清瀬」である。

今年もこのところ(3/25)までの温かさで、カタクリたちが咲き始めているであろう。 清瀬は、まるで昭和の頃の田舎である。 昭和 20 年の関泉(武蔵関・上石神井・大泉)地域と同じ雰囲気＝環境だ。

大学の「薬草園」を見たり、「畑」を見学したり、有意義な一日を過ごすことができました。 空堀川の南岸に群生する「カタクリ」も見た。

パパイヤ その後

地上近くで切断したパパイヤの切り口が、漏斗のようになっている。 枯れている。 鋸で切った茎の穴(漏斗)にバケツで水を注ぐと、根穴を通して勢い良く流れる。 更にもう一杯。 一気に地中に流れ込む。 既に、根の周辺が団粒化していると考えられる。 「根耕」だ。 で、根穴に水が流れ込む。

菌耕、ミミズ耕で、網目のように根穴ができたのだ。 団粒化が進む。 乾ききった畑の地中が、一気に潤う。 パパイヤの根が作った細管だ。

今年は、今有る根穴近くに一本だけパパイヤを植えよう。 耕作期間が、来年 2 月で終いになる。 で、次の耕作者のご迷惑にならないようにしないとネ。

パパイヤの種は、発芽が大変良いと聞く。 タキイ種苗、国華園でも未だ種子は売られていない。 苗を買うと、大層高い。 種子から育てれば安くなる。

パパイヤは、低温に弱い。越冬できない。このところ数年、パパイヤのタネを探している。

テレビで、鉄腕ダッシュのグループが、ビルの屋上でバナナを作る番組を見た。ビニール囲い(ビニールハウス)、加温……。大層苦労している。東京では、無理。無理。無理。其の後、バナナの栽培は、中止となる。

私も五度ほど試みたが、すべて失敗している。空しいものだ。沖縄、小笠原の亜熱帯域で、やっとならう。東京では、パパイヤと同じく低温で、やられてしまう。枯れる。

バナナの最初のトライは、大学3年の時であった。それから、延々と続いたトライであった。11月に花芽が膨らみだすが、12月になると枯れ始める。低温障害。越冬するには、18℃～20℃の温度は、ほしい。無理な話で……。妻の手で電源が切られてしまう。我が家の自(手)動スイッチが作動する。

3月26日、今日も、パパイヤ漏斗にホースから、直接水を注ぐ。根群の給水は、並でない。良く浸み通る。全く驚きだ！。この現象は耕作畝に使えるのではなかろうか。地中の埋めた給水細管だ。散水装置である。

今回(2024年)、パパイヤは、野菜として青い実を沢山収穫できました。煮しめ料理に向いている。美味しくいただきました。

広畝の地表に置いたマルチ板をどかします。列状に隙間を開ける。市販「種蒔用土」を置いて、三角鍬で軽く混ぜる。種子蒔き溝をつける。種を蒔く。厚板で押す。ガラス瓶の瓶底でも良い。散水。新聞紙で覆う。散水。箆目のトレイで敷紙を押さえる。朝と夕に散水。3日目あたりから地表を見る。「芽」が出始めている。突然の花冷えで、寒い(3/31～4/2)。

先ずは、ダイコン。コマツナ、ニンジンにカブで、始めました。中央に設けた作業用通路、通路を挟んで両脇を養分の濃い畝に。広幅の畝の中程に、追肥溝。⇒畑の構造、この辺のことは、2月号をご覧ください。

苗を植える、種を蒔く。後は、水やり。で、「健康」「元気」野菜が無農薬で、できる。種を蒔く。後は、水をやるだけ。……

木瓜の花が満開、見事。晩秋になると実が付く。カリンも成る様になっているので、それで果実酒を作る。梅酒、木瓜酒、カリン酒それぞれ美味しい。楽しんでいきます。

果実は、完熟したものを使っているせいか、市販の果実酒より、香が強い。美味しい。味が濃い。カリン酒は「ノド痛」に効くようで、使っている。自分は、酒アレルギーなので、余りいただけないのが残念である。

サヤエンドウの花が咲くが、虫たちがやって来ないのが気になる。



3/30 木瓜の花が満開 蜂がいない蝶が来ない 3/25 サヤエンドウ咲く 蜂たちが来ない

86歳の高校同窓会。嬉しくて、ほんの少しのサワーでベロベロ。困ったもんだ。20数人も集まったので嬉しくて、ついつい飲みすぎた。(3/29)

お会いしたMさんが、野菜作りの同好の士であることが判明。1月号～3月号を読んでもらう。お渡しする。

当時、在校生が260人もおったと思いますが、生物部の他にもこんなに植物好きな方がいたとは・・・、全く嬉しい。江戸東京野菜、種子の扱い店とか、最新の野菜(トウモロコシ、ジャガイモ・・・)の美味しさとか、話が尽きない。

大幹事、Y君、有難う。今回もお世話になりましたネ。K君もK間も来れなかったが、またお会いしたい。奇譚なY君のおかげで、会が開けました。

ありがとうございました。

書斎(小部屋)の壁に、カレンダー(宇宙)の絵が張り付けてある。星雲、スバル、月、富士の星たち……。私のガス化するのも近いヨ・・・。

我は、大宇宙の大循環の中にいる。残る許された月日を何かに、役立てたい。これからも、「胸に煙がナ～ア、絶えやせ～ぬヨ～」大島節の一番の歌の気持ちで、生きていきましょう。

私は、全く出遅れて、仏教仏事の事は解らない。富山県出身の父母から受けついた「浄土真宗」。お経は、「浄土三部教」ですが、私には分らない。難しい。長すぎる。で、お唱えすることも無い。般若心経にしていますが、朝のお勤めを時々忘れる。とにかく、とても短くて良い。

「般若心経」は、内容がよく解らない。分かり難い。生物部の友達(S君)が曰く、「心経」は、十人読めば、十通りの解釈。それで良いのだそうだ。で、彼から写経を奨められる。でも、やれない。「根気」が無いのであります。とにかく線香の「灰」が、結構溜まるのであります。「灰を」地面に返す。ま～あ、それで良いということにします。

地上の滅亡が迫ると言う。どうぞ、そのような事が起こりませんように。苦しむ子供たちが出てはなりません。戦争を起こしてはいけません。戦争を始める者がいませんように。祈る。 T、